


令和5年度 研究サマリー

研究会名称	腎不全研究会	
代表者所属	東海大学医学部腎内分泌代謝内科	
代表者氏名	深川 雅史	
研究方法・結果	<p>本研究会は、腎不全の発症と進展の防止を前提とした腎不全病態の解明と新たな治療法の創出を目的として発足いたしました。腎不全の発症や進展のメカニズム、それを防止する治療法の研究、腎不全に伴う合併症の発症機序の解明と治療法の開発、新たな血液浄化療法の開発などが新しい角度から大いに進展することを企図いたしまして、尿毒症病態研究会、腎不全病態治療研究会として活動を続けてまいりました。さらに平成22年度より、これまで蓄積した基盤を引き継ぎ、更に発展させることを目的として腎不全研究会を設立し活動を続けております。</p> <p>令和5年度は、鶴屋和彦先生（奈良県立医科大学腎臓内科学）、濱野高行先生（名古屋市立大学大学院医学研究科腎臓内科）を代表世話人として、第13回年次研究会を開催いたしました。</p> <p>完全対面形式での開催となり、各セッションで非常に活発な討論が交わされました。</p>	
*プログラム	<ul style="list-style-type: none">・指定講演「オートファジー・リソソーム分解系による老化抑制機構の解明」 中村 修平 先生（奈良県立医科大学生化学講座）・一般演題 20 題 うち、優秀演題賞として、会長賞 2 題、特別奨励賞 3 題を選出・ランチョンセミナー1 題、スポンサードセミナー1 題	
研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）		